



## ～「対策テキスト」を使った学習の進め方～

- 1) まず「解説」（図内①）をしっかりと読みましょう。
- 2) 解説をしっかりと読んだら「Lesson」に進みましょう（図内②）。  
「Lesson」を実習するには教室のパソコンに保存されたデータファイルを開きます。以下のフォルダーにアクセスして対象のレッスン番号が付いたファイルを開きましょう。
  - ・ワードの場合  
ライブラリ>ドキュメント>MOS-Word2010(1)
  - ・エクセルの場合  
ライブラリ>ドキュメント>MOS-Excel2010(1)
- 3) Lesson の課題を実際に操作していきましょう。その際、問題の後に記載されている操作手順を見ながら操作していただいても構いません。操作を行いながら一般的な手順をしっかりと理解しておきましょう。この段階では「How to」や「Point」は気にせず「Lesson」の操作に集中しましょう。  
Lesson で開いたファイルは課題の操作が済んだら、名前はそのまま「デスクトップ」に保存してください。
- 4) 同一単元内の Lesson を、ファイルを開きながら皆さんのペースですべて操作してください。 単元内のすべての Lesson を終わったらインストラクターに声をかけてください。インストラクターが操作のチェックを行います。
- 5) チェックが済んだら、インストラクターからその単元の Lesson 課題のみが記載された「課題シート」を受け取ってください。
- 6) 3)で行った操作を思い出しながらもう一度、今度は テキストの操作手順をできるだけ見ずに Lesson の課題を行きましょう。この際、操作手順をどうしても思い出せない場合は、その部分のみテキストを確認しながら操作を行っていただいて結構です。ここでも操作したファイルはデスクトップに上書きとして保存しておきましょう。
- 7) シートの問題が一通りできたら、インストラクターに声をかけてください。  
操作結果についてチェックを受けたのち、もう一度テキストを見ながらすべての Lesson の操作手順を確認しましょう。もし操作が不安な場合は、もう一度テキストを見ながら「Lesson」を操作しながら確認し、自信をもって操作できるようにしましょう。  
また、この時点で、ページの外側に記載されている「How to」や「Point」（図内③）についてもしっかりと確認しながら理解を深めましょう。不明な点や不安な点はいつでもご遠慮なく質問してください。
- 8) すべての確認ができたならインストラクターからの指示を仰ぎましょう。  
インストラクターによって皆さんの理解が十分と判断されたら、次の単元に進んでいただきます。
- 9) その後次の単元に進んだら、また1)のステップから学習を進めてください。

- 10) 皆さんの進み具合を見ながら、切りの良いところでインストラクターが終了の指示を出します。そこでその日の学習は終了となります。
- 11) 一つの「内容評価基準」のカテゴリが終了したら、その「内容評価基準」のLessonから抜粋した問題シートを使って、確認演習を行います。教室から渡された問題シートを、できるだけテキストを見ずに操作してください。その結果をもとに、インストラクターがカウンセリングを行いますので、必要に応じて、学習内容をさかのぼってもう一度苦手なスキル内容を復習しましょう。

上記1)～11)までのステップを繰り返しながらすべての「内容評価基準」についてマスターしていただきます。

## 【模擬試験について】

すべてのLessonを修了したら、本試験に臨む前に模擬試験プログラムを行っていただきます。テキストには模擬試験が5回分と、その5回分の中から問題がランダムに出題される「ランダム試験」が用意されています。制限時間内に問題を解く緊張感や、実際の試験の流れをイメージするためにしっかりと模擬試験を体験しておきましょう。

※模擬試験を行う前にはご自宅でテキストにある「模擬試験プログラムの使い方」を必ず一読しておきましょう。

Wordの場合：217ページから227ページ

Excelの場合：227ページから237ページ

### ～模擬試験の進め方～

教室では模擬試験を各試験一回ずつ（ランダム試験を含めて計6回）行います。以下の流れに沿って効果的に受験しましょう。

- 1) お手持ちのテキストに付属しているCD-ROMをパソコンにセットしましょう。
- 2) 自動再生のウィンドウが開く場合がありますが、「閉じる」ボタンで閉じてください。
- 3) すべてのプログラムから「MOS Word2010」または「MOS Excel2010」を選んでクリックしましょう。
- 4) 模擬試験のスタートメニューが表示されます。
- 5) 受験する回のボタンをクリックします。
- 6) 受験します。解答時間は50分です。
- 7) すべて解答できたら「試験終了」ボタンをクリックして試験を終了しましょう。  
※時間が来たら自動的に終了します。

- 8) インストラクターを呼んでください。一緒に採点結果や正答率を確認します。
- 9) ヘッドフォンの端子をパソコンのヘッドフォンジャックに差し込みます。
- 10) 試験結果画面の採点結果で不正解した問題の「×」の上でクリックします。
- 11) 画面上で解答アニメーションが再生されます。すべて再生されたら「閉じる」ボタンをクリックして試験結果画面に戻りましょう。
- 12) 必要な問題をすべて確認したら「終了」ボタンをクリックして終了します。
- 13) CD-ROM を取り出して、テキストにしまっておきましょう。

#### (注意事項)

- 教室で行った模擬試験の結果はパソコン上には残りません。インストラクターが別途チェックシートで正解率をチェックしますので、必ず模擬試験が終了したらインストラクターに声をかけてください。
- ご自宅のパソコンに対象のアプリケーションソフトがインストールされていれば、ご自宅でも模擬試験を行うことができます。
- 模擬試験を自信をもって解答できるようになることが試験合格を確実にするポイントです。模擬試験後はテキストの巻末の「模擬試験 標準解答」を確認しながら間違った問題を復習しましょう。

### 【ご自宅での学習と合格へのポイント】

- ご自宅での学習は基本的に「復習」を中心に行ってください。最終的に、すべての Lesson が課題文を見ただけでできるようになることが目標です。自信のない Lesson はご自宅で繰り返し覚えるまで操作を行いましょう。
- 教室では模擬試験を基本的には各回 1 回のみ受験していただきます。ご自宅でも模擬試験を繰り返し行っていただき、自信をもって本試験に臨めるようにしましょう。
- 本試験に臨む前には必ずテキストの「付録2 本試験に臨む前に」を一読しておきましょう。
- ご自身でテキストの Lesson をすすめていただいても結構ですが、教室では單元ごとにチェックを行いながら授業を進めていきます。ご自宅と教室で Lesson を覚えるまで繰り返し行うことで、自信をもって試験に臨みましょう。
- 本試験でも問題の読解力が得点のカギになります。普段の学習でも、しっかりと文章を理解して進めていく癖をつけていきましょう！